

第5回 JAPANコンストラクション国際賞 応募申込書

特別賞（先駆的事業活動部門）

I 応募者（当事者及び推薦人）概要

1. 会社名	
2. 所在地	〒
3. 連絡先	ご担当者名： 部 署： 電話番号： E-mail：
4. 推薦人 （推薦人応募の場合のみ）	氏名： 所属・役職： 電話番号： E-mail： 住所： 当事者の同意の有無： 有 無 （該当しない方を削除）

II 事業概要

1. 事業名称（和文名及び英文名）	
2. 所在国・都市	国 都市 （少なくとも国（地域）レベルまでは記入すること。複数の国にまたがる事業の場合、列挙の上で主たる拠点を合わせて記入すること）
3. 期間	開始： 年 月 終了（予定）： 年 月 （現在継続中の事業の場合は、終了予定の時期を記入すること、継続的に事業を実施する予定の場合はその旨記すこと）

Ⅲ 事業内容

評価基準のうち、パイオニア性については本項目の記載内容を中心に評価します。

1. 当該事業の背景、目的（概ね500字以内）

（※特に、中長期的・戦略的な取組があれば、その点についても記載して下さい。）

2. 当該事業の状況（概ね2,000字以内）

（事業の概要、事業の規模（人員・資金等）、現段階での成果及び継続中案件の場合は今後見込まれる具体的成果等を記載して下さい。）

IV 我が国企業の優れた技術・ノウハウ等の強みを活用し、海外におけるプレゼンス向上に寄与したか。

○以下の点について、詳細な事柄を記載して下さい（各500字以内）。

また、可能な限り現地での報道や使用した技術・ノウハウに係る概要等、客観的な資料を添付して下さい。

- ①・現地コミュニティに「日本の事業活動」として認知されているか。
・現地社会から高く評価されているか。

（例：現地報道や国際的媒体において日本の事業活動として好意的に取り上げられた、現地報道で事業活動による裨益が報じられた、当該事業活動を通じて実現したプロジェクトが紹介される中で R&D/人材育成等の事業活動についても紹介がなされた等）

- ②・日本企業が優位性を持つ技術やノウハウ、人材育成などの強みが、事業活動の実施にあたって重要な要素となったか。
・当該技術・ノウハウが関係者に評価されているか。

（例：日本で培った〇〇技術（〇〇での経験）の××国での展開のために海外で産学共同研究を行った、〇〇という特徴を有する日本流の人材育成が現地政府から高く評価された等）

V 質の高いインフラ投資に関するG20原則の原則1～5に沿った「質の高いインフラ」の実現に寄与するか。

(参考) 質の高いインフラ投資に関するG20原則 (仮訳)

https://www.mof.go.jp/international_policy/convention/g20/annex2.pdf

○応募事業活動が、日本企業の海外での質の高いインフラへの実現に寄与するにあたって、質の高いインフラ投資に関するG20原則に基づきどのように寄与するのか記入してください。

○記入にあたっては、どのような点が原則のどの項目(原則1～5)に該当するのか明確に記載してください。その際、少なくとも2項目について記載をお願いします。

IV 事故等調査

貴社の応募する事業活動において、当該活動に関して死亡事故等発生の有無についてご回答ください。下記【 】に○印をつけてください。またその他重大な事故等についてもご報告ください。

※日本人スタッフ、現地スタッフ、自社社員、協力会社スタッフ、関係者以外の方、事業所敷地内外を問わず、当該事業活動に起因した事故は全て対象とします。

1. 死亡事故発生の有無

【 】死亡事故は発生していない。

【 】死亡事故が発生した。

※事故内容及び事故処理の詳細を記入してください。（極力、詳細に記載してください。）

--

2. その他重大な事故等発生の有無

【 】発生していない。

【 】発生した。

※事故内容及び事故処理の詳細を記入してください。（極力、詳細に記載してください。）

--

添付資料

1. 事業活動に関連する写真を5枚まで、写真についての説明を2～3行で記述して下さい。
2. 上記各項目を説明するために必要な図表や参考資料等がありましたら、技術的な事項も含め客観的かつ簡潔な資料を添付して下さい。